

連載 エスディエス SDGsに取り組む市内団体を紹介

教えて!みんなのSDGs ⑤

問 政策調整課(☎025-226-2066)



NPO法人みらいびらき Labo. CEO理事 佐藤 裕基さん



遊びを通じたカウンセリング

同法人は、不登校など心に悩みのある子どもや若者を支援する団体です。毎週金・土曜に、ボードゲームなどの遊びを通じた、国の公認心理師による個別カウンセリングを無料で実施しています。また、月1回相談者と支援員が集まって、遊びの中でコミュニケーション能力を育む場も提供しています。「元々個人で活動を始めましたが、協力してくれる人が次第に増え、4年前に法人化しました」と佐藤さんは話します。

全ての子どもに豊かな学びを

「不登校と聞くと悪いイメージを持つ人もいますが、学校に行けないことはその子の個性の一つに過ぎません。全ての子どもが豊かな生活を送れるよう、学校以外でも学べる機会が充実するといいですね」と佐藤さん。

「今後はデジタルイラストの技術を学べる講座を開発するなど、ニーズに応じて支援の幅を広げていきたいです」と優しい表情で話してくれました。



▲同法人が発行している不登校の子支援マガジン「OPEN SCHOOLING」。支援の趣旨に賛同し、同マガジンを設置できる施設を募集している

最終回 歴史や文化、観光情報、イベントなどを紹介

知ろう! 行こう! 佐渡 ①



問 観光推進課(☎025-226-2612)

※昨年6月30日に新潟市と佐渡市は「誘客交流連携協定」を締結しました

春の佐渡へ行ってみよう

スマートフォンはこちらから



佐渡には、桜の名所がたくさんあります。佐渡金山では桜並木がライトアップされるほか、順徳上皇が植えたと言われる海潮寺の「御所桜」や、妙見山のヤマザクラ「千竜桜」など、見どころ満載です。



▲佐渡金山と桜



佐渡の桜の見頃は4月中旬ごろです。ぜひ訪れてみてください。

観光推進課 坂下(佐渡市から派遣)

主な春のイベント ※このほかのイベントは「さど観光ナビ」ホームページに掲載

開催日	イベント
4/23(日)	佐渡トキマラソン
4/29(祝)~5/7(日)	鼓童 佐渡宿根木公演
5/21(日)	佐渡ロングライド210
5/28(日)	佐渡国鬼太鼓どっとこむ(伝統芸能祭)

春は祭りの季節でもあり、島内各地で鬼太鼓や流鏝馬、みこしなどの神事も行われます。私も楽しみにしています。



佐渡市観光振興課 齋藤(新潟市から派遣)

地震はいつ発生するか分かりません。自分や大切な人の命を守るため、今からできる対策を知り、いざというときに備えましょう。

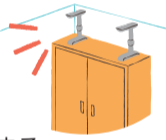
問 防災課(☎025-226-1143)

いざというときのため 地震に備えよう

今、準備できること

家具の置き方

- ・金具や突っ張り棒で壁に固定するなど、転倒を防ぐ
- ・寝る場所や部屋の出入り口に倒れないよう配置を工夫する



飲食物品などの備蓄

- ・水(1人1日3ℓ)や食料(缶詰、レトルト食品、チョコレートなど)、生活用品を3日~1週間分
- ・常備薬や衛生用品(トイレトーパー、マスクなど)



非常用持ち出しバッグの準備

- ・備蓄している飲食物品など
- ・懐中電灯、携帯ラジオ、電池、モバイルバッテリー
- ・身分証明書、現金、通帳、印鑑
- ・衣類、上履き(スリッパ)、マスク、消毒液、ウエットティッシュ、体温計、ごみ袋、おむつ、携帯トイレ など



避難場所や経路の確認

- ・近くの避難所、津波避難ビルを確認する
- ・ハザードマップで津波による水害の危険性を確認する



住宅の耐震性を確認

- ・自宅の耐震性を診断し、必要な場合は改修工事や耐震シェルターの設置を検討する

▲避難所・ハザードマップ

地震が発生したら

緊急地震速報

- ・ドアを開け、避難経路を確保する
- ・火元の近くにいる場合は火の始末をする



地震発生

- ・頑丈な机の下などに隠れる
- ・屋外にいる場合は建物やブロック塀から離れ、頭を守る



揺れが収まる

- ・非常用持ち出しバッグを用意するなど、避難の準備を始める
- ・火元を確認し、出火している場合は初期消火をする

避難所に向かう前

- ・ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る



避難

- ・高齢者など支援が必要な人がいる場合、一緒に避難する

緊急情報をいち早くお知らせ

- 地震
- 大雨
- 避難情報
- 断水



新潟市 LINE公式アカウント



にいがた 防災メール



新潟市 危機管理防災局 Twitter

■発熱などの症状があるときはかかりつけ医へ電話で相談

かかりつけ医がない場合は

新潟県新型コロナ受診・相談センター

☎025-385-7634、

☎025-385-7541 または

☎025-256-8275 (24時間対応)

聴覚に障がいのある人は FAX 025-246-5672 (9時~17時)



▲スマートフォンはこちらから

今年度対象の人は3月31日(金)までに接種を 問 保健管理課(☎025・212・8123)